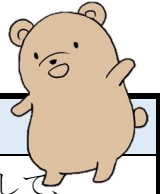


【国語】



■ 1週間の間に次のことをやってみよう。

〈勉強すること〉

- (1) 教科書P18～30『タオル』を読んで、描写の効果や登場人物の言動の意味に着目して、作品を読み深めるとともに、少年の気持ちが変化することの意味について、自分の考えをもちましよう。

〈取り組み方について〉

(1) について

- ① 祖父は、どのような人物であったと考えられるか、また、父、シライさんは、祖父の死をどのようにとらえているのか、ノートか取組シートに書きましよう。できれば、そう考えた理由も書きましよう。
- ② 「涙」ということに着目すると、少年の気持ちには次の(ア)～(ウ)のような変化が見られます。それを踏まえて、2つのことについて考えましよう。
- (ア)「なのに、涙がでてこない。悲しいかどうかははっきりしない。」(P21L1)
- (イ)「急に寂しくなった。涙は出なくても、だんだん悲しくなってきた。」(P28L15)
- (ウ)「まぶしさに目を細め、またたくと、熱いものがまぶたからあふれ出た。」(P30L10～11)
- ・それぞれの描写から、少年のどのような気持ちが読み取れるか、それぞれの気持ちをノートか取組シートに書きましよう。
 - ・少年が(ア)～(ウ)のように変化していくのは、なぜか。考えをノートか取組シートに書きましよう。
- ③ 「かすかな潮のにおいは、そこにもあった。」(P30L11)とは、どのようなことか、ノートか取組シートに書きましよう。
- ④ 「タオル」はこの作品の中で、どのような役割を果たしているのか、ノートか取組シートに自分の考えを書きましよう。

〈学習のヒント〉

- (1) ④シライさんがかつて撮影した「祖父と父の写真」と、最後に撮影する「少年の写真」の両方に、タオルが写ることに着目ましよう。
- 教科書P32「ここが大事」を読むと、言葉の意味に着目することで、少年の気持ちの微妙な移り変わりや、その変化の理由をとらえることができるようになります。